

第6期・第1回豊和村づくり協議会 議事録

2023年5月21日 18:00

豊和コミュニティーセンター

<参加者>

SOSA プロジェクト（高坂）、環境保全会（椿）、Three little birds 合同会社（寺本）、大寺区長（小柴）、豊和社協（越川）、内山市議（オブ）

1 自己紹介と村づくり協議会の紹介

協議会規約確認、村づくり基金の枠組み説明

2 今期の役員について→互選、決定

○代表 高坂 勝

○副代表 越川 俊幸、栖関 善勝（予定）

○事務局長 椿 茂雄

○会計監査 越智 雅紀

3 助成金の支給について協議

① 新規移住者への支援金

○宗像健吾さん、飯塚・米持に二拠点移住。申請希望あり。

→7万5千円 承認。

② 小学校の田植え体験

○今年も継続して実施予定

継続している間は助成することになっている。

→承認

③ 元JA 指導員の椎名さんへの支給について

重機使用して、3畝復田したので、対象になるのではないか。

→まず本人に申請希望を確認する。

4 ソーラーシェア収穫祭について報告

○今年から「地域の祭り」を軸足にして、地域の人と移住者が一緒に取り組む形で実施する。

○実行委員会方式が検討されている。

10月から11月初旬実施予定。実行委員会から助成金の相談が来る予定。

5 今期の基金収入について報告と協議

① 今期の収入額は、設備が増えていることから増える見込み

② 匝瑳おひさま発電所からの基金の拠出について協議

○発電出力が2MW（AC）と大きな設備で本来であれば160万円の基金が想定されていたが、北総東部飯塚分区の共有地（余剰地）を分区の要望を受けて実勢価格の3倍近い金額（総額4600万円）で購入したこと、コロナや円高で建設コストが増大したことから、基金の拠出についての猶予の要請がされている。

・銀行融資が終了するまでの10年間は、拠出猶予か金額の大幅な減額

・11年目からは他の設備同様の基金を拠出する。

→拠出猶予、承認

6 移住者へ空家を提供した家主への謝礼金の見直しについて協議

○市が「空家バンク」を通じての賃貸に5万円の助成をすることとなった

○家主には賃貸料も入ることから5万円の「謝礼」は必要か？

或いは、地元在住の家主と不在の場合と金額に差を設けるか？

・空家があっても、実際に地元以外の人に貸すことに抵抗がある場合がある。

・貸すことになった場合、家主側にも荷物の片付けの手間・費用がかかる。

・貸し手がいないとせっかくの移住希望者も他地区に流れてしまう。

→空家再利用促進、家主のインセンティブになるよう、謝礼継続

・その他空家について

移住希望者：10月くらいまでに移住希望は2組、急がない方は4組、待機している。

実際空家はあるが、所有者は住んでいないことが多い。

空家マッチングでも、空家を募っているという情報が所有者不在のため、届かない。

不在の所有者に、うまく情報が伝えられる方法を試していく。

7 その他

① 次回協議会 7月 22日(土) 10時

② 高坂さんより情報提供

辻信一さん(環境活動家)がSOSAプロジェクトの田んぼ見学に来る予定。

6月4日(日)

急なことで講演会は無理だが、話ができる機会を設ける予定。

以上